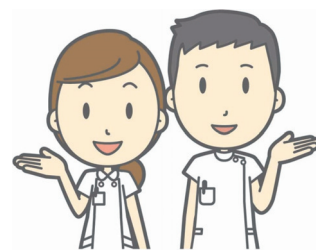


「リハビリって？」

富山ろうさい病院 中央リハビリテーション部 部長 いしだ よしお 石田 祥雄

私が所属する中央リハビリテーション部は病院2階の奥にあり、入り口も狭くあまり目立ちませんのでどんな所かご存じない方も多いのではないのでしょうか。中に入ると明るい空間が広がり、色々なリハビリ機器が用意され、病気や怪我で思うように身の回りのことができなくなったり、話せなくなったり、食べられなくなったり、様々な症状を持つ患者さんに対してリハビリが行われています。



リハビリ技師は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という3つの専門職に分かれますが、それぞれどのようなことをしているのか皆さんはご存知でしょうか。普段の生活を考えると、朝目覚めると起き上がり歩いて茶の間へ行き、「おはよう」と声をかけ、トイレ、洗面、着替え、食事、何気ない会話など、これらがごく当たり前に行われます。しかし病気や怪我で思うように動けなくなると、普段の何気ない動作ができなくなってしまうことがあります。そのような患者さんに対して理学療法士は主に、起きる、立つ、歩くなどの練習、作業療法士は主に、生活に必要ないろいろな動作、トイレや洗面、食事、着替えなどの身の回りのこと、言語聴覚士は話す、聴く、理解するということは勿論、食べる・飲み込むことなど、口やのどの働き全般に関わります。このようにそれぞれ専門性は異なりますが、お互いに補い合いながら日々患者さんと向き合っています。とても大雑把な説明ですが、何となくでもイメージできましたか？

最優秀演題賞受賞しました。

富山ろうさい病院 薬剤部 上島聖秀薬剤師が、
薬剤部濱野晃至部長 泌尿器科石浦嘉之部長 新倉晋部長ら
と共同で研究した「過活動膀胱治療薬投薬症例の多剤併用に
関する実態調査」を富山・石川・福井県の三県の排尿ケアに
関わる医療者が集まる、第31回北陸排尿障害研究会
(2018.7.1 於ホテル金沢)で発表し、コメディカル部門
最優秀演題賞を受賞しました。厚生労働省より通知のある「高齢者の医薬品適正使用の指針」などで問題
点に挙げられている多剤服用について、過活動膀胱治療患者を対象とした多剤併用状況の当院での実態を
明らかにしたことが高く評価されました。

薬剤部 薬剤師 上島聖秀



出前講座について

【事業所様へご案内】 以下のような内容で講師の派遣を行っています。ご相談ください。

- ・病気に関すること
 - ・治療と就労両立支援に関すること
 - ・健診や検診に関すること
 - ・その他
- (看護部が行えること)
- ・感染管理に関すること
 - ・皮膚・排泄ケア
 - ・糖尿病に関すること
- ・がん看護に関すること
 - ・その他

<連絡先：地域医療連携室にご連絡ください。>

魚津市急患センター

富山ろうさい病院、魚津市医師会、魚津市が協力して夜間等の急病に受診できる急患センターを開設しています。

●診療時間 夜間(毎日) 午後7時～10時 ●場所 富山ろうさい病院 0765-22-1280(代表)

* 時間外通用口から入ると、すぐ左側に受付があります。

* 乳幼児・小学生の急病は新川医療圏小児急患センター(黒部市民病院 0765-54-2211)で受診してください。